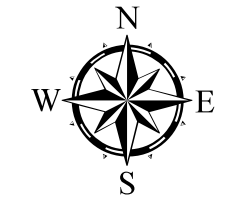


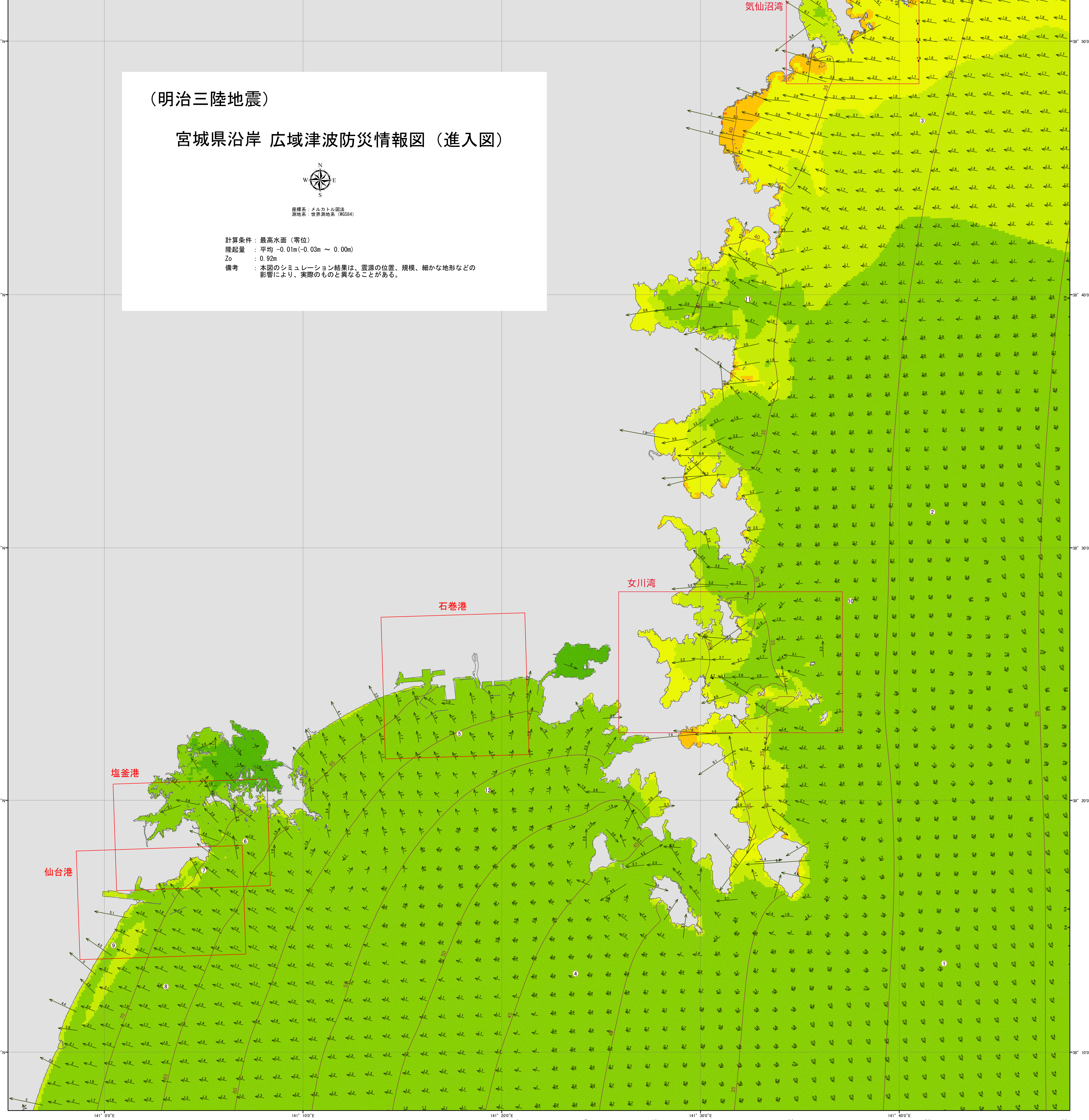
(明治三陸地震)

宮城県沿岸 広域津波防災情報図 (進入図)



座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件：最高水面（零位）
隆起量：平均 -0.01m(-0.03m ~ 0.00m)
Zo：0.92m
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



凡例

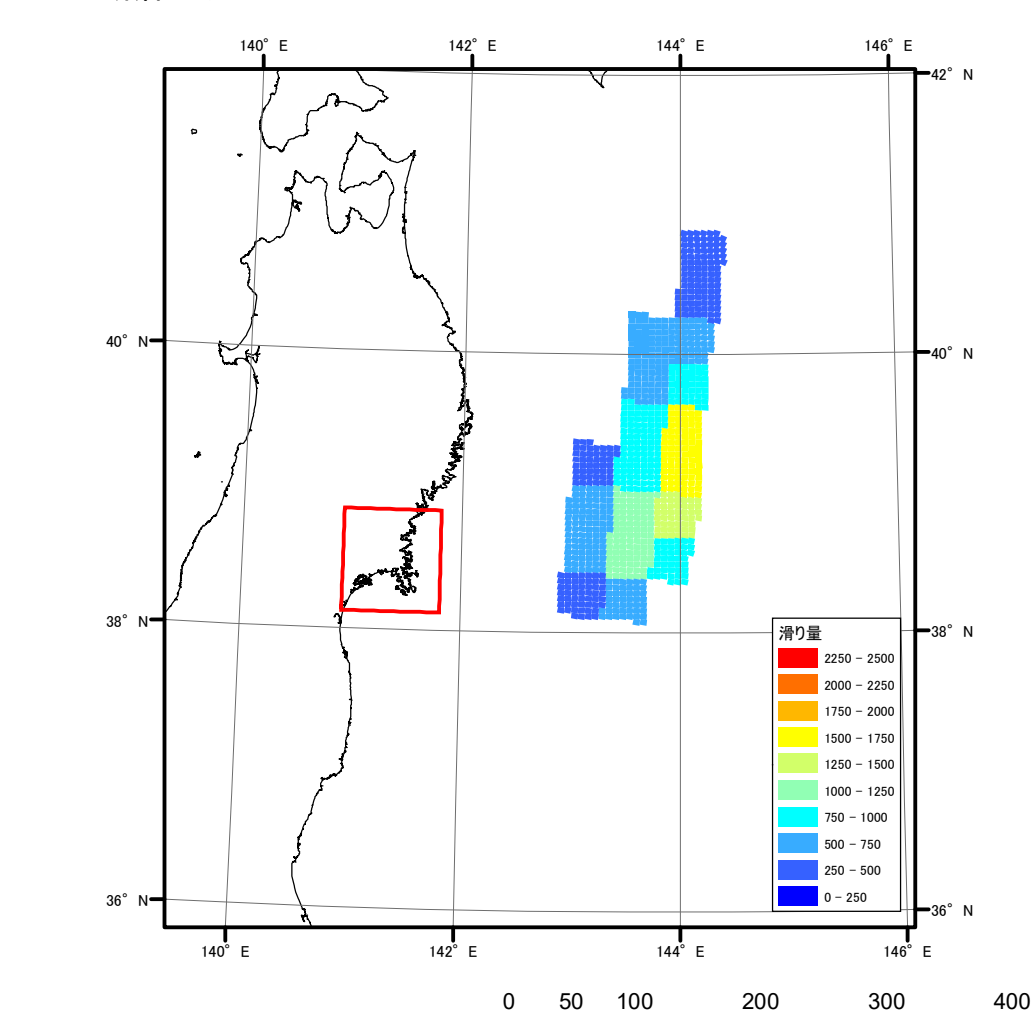
- 水位上昇(+10cm)になる等時線[分]
- 最大水位上昇
 - 10m~
 - 5~10m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
- ⑩ 経時変化図出力点
(図上の位置における津波の挙動を個別の経時変化図で示す。)
- ⑨ 水位、流向・流速経時変化図

進入時最大流 [knot]

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。
- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を示している。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断面モデル



明治三陸地震
モーメントマグニチュード Mw 8.6

本断面モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺型海溝地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

- 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
- 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 - ・海上保安庁が保有する水深データ

作成機関：海上保安庁
防災情報作成年月：平成29年11月（初版）
編纂データ作成年月：平成29年1月（3訂版）

赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。